

白田チームリーダーのコメント

緑区でのワークショップ（クロスロードゲーム）は50人以上の参加で、それぞれ地元で生活している立場の異なる人達や市会議員、行政の方々が集い、楽しく、和やかに、真剣に設問に当たるといふ事をモットーとして展開された。今回は「防災」に特化した事柄が主な設問のテーマであり、基本的には正解がないというゲームとして行い、その結果「イメージする（考える）」「気づく」「なるほど」「そだねー」といふ心がけで取り組むことが出来たのではないのでしょうか。

いつもの事ながら最初は場に慣れていない、ゲームに慣れていないという事でエンジンのかかり具合が遅いのは何処へ行っても一緒。悩ましい設問に戸惑う姿や、持論を展開している人も見受けられ、また一方では笑みがこぼれる場面もあり、参加者が2時間半のワークショップでどう感じたか？知りたいところです。

我々の一助が皆様方のスキルアップに繋がれば幸いですし、また我々も勉強させていただきました。

これから緑区の皆様方が、自分たちの手でテーマ別のワークショップを作り上げ、地域の防犯、防災、子育て、交通安全、環境、福祉、自治会活動など地域のコミュニティーを通して高齢者や障がい者等も含めた住み良い街づくりに繋がって欲しいと願っております。

【つどう つくる つながる ひろがる】を合言葉に！

参加者の皆様、裏方として準備をされた方々お疲れ様でした。

■何かを学ぶ方法として 【機会は自分でつかむ】

■ワークショップの意味、意義

- * ワークショップ(Workshop)とは、もともとの意味は、「工房」「作業場」です。さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場です。

	研修	ワークショップ
型式	講義中心	ディスカッション中心
姿勢	受講型	参加型（体験型）
方向	一方通行（受け身）	相互通行（能動的）
参加後	「教わった」	「見出した」＝気づいた
記憶	忘れる	自分の言葉で説明できる
変革	行動が変わらない	行動を変えて行く

2017年度 第3回みどりむ 防災・減災講演会



防災ゲームを通して 大震災に備える!

～「生きのびるか」「修羅場となるか」は、あなた次第!～



開催日時: 3月24日(土)
13時30分～16時
開催場所: みどりむ
(緑区市民活動支援センター)

**講師 白田克雄氏
中村俊光氏**

＜防災ゲームの指導チーム＞
・白田氏: 元南区六ツ川地区
連合町内会防災部長
・中村氏: 関ナカツ防災企画

- ◆定員: 50人(落選者のみ連絡)
- ◆参加費: 無料
- ◆申込方法: 裏面を参照ください
- ◆申込締切: 3月22日(木) 必着

防災ゲーム「クロスロード」

災害対応は重大な決断の連続です。個々の対応の仕方を「YES」【NO】で決断します。

例えば「人数分用意できない緊急食糧をそれでも配るか」など対応が人によって異なります。この異なる価値観を意見交換します。

今回は自助・共助をイメージし学習します。



主催 みどりむ自主事業部会・緑区役所
共催 まちづくりネットワーク緑

